

佐俣 和木 個展

SAMATA Kazuki solo exhibition



www.kunstarzt.com

Your Dream About?

KUNST ARZT では初となる、佐俣和木の個展を開催します。佐俣和木は、時には自身の身体を使い、日常に混入する文化的な違和感をユーモラスに置き換えるアーティストです。「遊び」が「スポーツ」に変化することで、失ってきたものを取り戻すような「コンプレックス突破のためのワークアウトプログラム (2023)」、身体と六甲山の環境との関係性を作り出す『鑑賞』装置でもある「Re: Think Sports ~ あなたの身体と向き合う 10 個のスポーツプログラム ~ (2023)」。

本展では、ディスクゴルフのプロ選手でもある佐俣が、会期中の土日に行われる大会「第 31 回東京オープン」に出場します。鑑賞者は、その出場に対して“スポンサー”というカタチで関与することができます。そしてその“関わり”を、展覧会場での完全中継を通して、確認し、楽しんで頂くことができます。

(KUNSTARZT 岡本光博)



展覧会コンセプト

アーティストであり、ディスクゴルフというプロスポーツの選手でもある私は、スポンサーを募集する。スポンサーは、アスリートとしての私のあらゆる行動の決定に関与することができる。あなたと私が契約を結んだ時、あなたの意志は私に受け継がれる。

経歴

1994 年 東京都出身
2023 年 京都市立芸術大学院彫刻修了

展覧会

個展

2017 年 「AMBIVALENT」 Gallery EGG
2021 年 「スポーティ・ダイバート」 下京青少年活動センター しもせいギャラリー

グループ展ほか

2016 年 「肉展」 ターナーギャラリー
2017 年 「学生 CG (CampusGenius) コンテスト受賞者展」 (ブロンズ賞) 化学未来館
2018 年 「多摩美術大学メディア芸術コース卒業制作展」 赤レンガ倉庫
2017 年 「蒼美展」 世田谷美術館
2018 年 「"Hi! Summer Time" 平成教育倶楽部 (ヒサモトタカト 佐俣和木)」 Gallery conceal
2019 年 「SICF」 スパイラルホール
2019 年 「RAMBLE encounter」 新宿眼科画廊
2019 年 「"Poly" 多摩美術大学助手展」 多摩美術大学八王子校アートテーク
2019 年 「汎美展」 東京都美術館
2020 年 「多摩美術大学助手展一 Intermixed 一」 FEI ART MUSEUM YOKOHAMA
2020 年 「多摩美術大学助手展 TAMABI Trial Exhibition "ANYHOW,"」 多摩美術大学八王子校アートテーク
2020 年 「すみだ向島 EXPO 開発好明プレゼンツ軒下プロジェクト」
2021 年 「MMIX+」 東北東京展」 新宿 スペース・ゼロ
2021 年 「ものとかすひと」 千鳥文化 / コーポ北加賀屋
2022 年 「京都市立芸術大学作品展」 京都市立芸術大学
2022 年 「個別の 11 人 p」 京都市立芸術大学
2022 年 「サーフィン (ここにあるピーフン)」 コーポ北加賀屋
2023 年 「京都市立芸術大学作品展」 京都市立芸術大学
2023 年 「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 beyond」 (奨励賞)
2023 年 「大月コンテンポラリーアート 2023」 高知 大月町
2023 年 「Color Play」 京都 泉涌寺
2023 年 「ANTEROOM Transmission vol.2 - re+habilis」 アンテルーム京都

2024 年 4 月 16 日 (火) から 21 日 (日)

火一金 12:00 から 18:00

土 9:30-18:00

日 9:00-18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

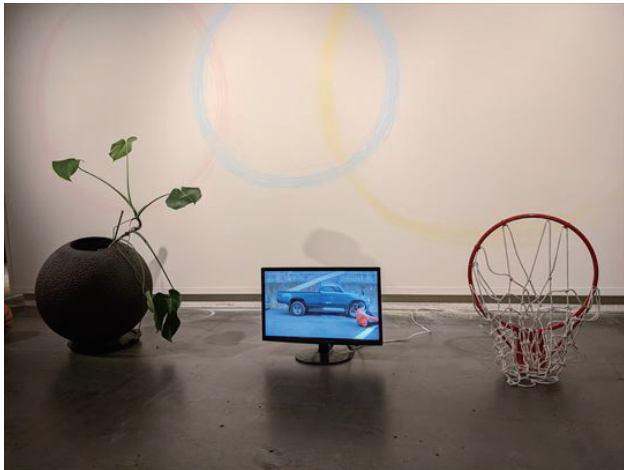
090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティスト・ステートメント

佐俣は、映像やインスタレーション表現の中で、自身の行動からくる心身の変化をキャッチしたり、健康的と思われる文化に触れることで人の欲求を見つめている。そして、それらがどう生活に混入しているのか思考を試みている。

近年は、あらゆるトピックを「スポーツ」に置き換えることで加わる観点に注目しているが、本展示は、自分の日々の生活に立ち帰る。アーティストであり、短期契約の大学の非常勤講師であり、非効率とも思われるスポーツの練習に日々取り組んでいる佐俣本人のリアルな生活が、社会的なイメージとどう乖離していてどんな問題を孕んでいるのかを考えるための場を作りたい。



Health Training

2023

モニター、ワンダーコア、ロープ、ボール

「理想的な肉体」とはなんだろう。「美しく健康な身体」は誰が決めるのだろうか。管理された混沌の中で、私たちは幻想ではなく実存する身体を捕らえることはできるだろうか。この作品は健康を独自の見解で捉えた3つのトレーニングを考案している。



コンプレックス突破のためのワークアウトプログラム

2023

モニター、マットロール、樹脂

私は、アスリートとしてスポーツを通して得た身体の動きを細かくキャッチする際の思考プロセスを応用し、スポーツの領域にとどまらないより拡張したイメージを持ち込み、物理的な体の動かし方やスポーツとの向き合い方を捉え直す試みをしている。本作品は、スポーツコンプレックスの克服を目的とし、その手段として6つのプログラムを提案し、私自身が体を使って実践するプロセスを作品にしている。

6つのプログラムは、一貫して目的を達成させるための手段において、多様な物の見方の必要性を訴えている。それは、スローラインに理想的なイメージを乗せる事だったり、過去の経験を目の前の出来事に変換する事だったり、道具と身体をつながりを見出す事だったり、精神的錯覚を自覚する事だったり、ダンスのように身体表現することなどである。自分の心身で得た発見を、多様な文化と柔軟に結びつけながら、結果に捉われない発想を続けることで、ナショナリズムとはかけ離れた身体の深い世界を見出せるのではないかという1つの提案を作品化している。



Re: Think Sports ~あなたの身体と向き合う10個のスポーツプログラム~

2023

モニター、パネル

六甲山の各地で10種類のスポーツを提案している。

自分がロープウェーだったらどう身体を使い方をするか考えるスポーツから、人の身体の特徴を推し量ったり、綺麗な景色に向かって架空のフリスビーを投げて実況をすることで神戸の地形的歴史を見つめたりなど、身体と六甲山の環境との関係性を作り出すことで、自分自身の身体と向き合い、まだ知り得ない可能性を探るための装置となっている。



Praying Playing

2023

スチールパイプ、コンクリート

京都の荘厳な泉涌寺というお寺に遊び場を作った。チープでカラフルなリングやボールを神社で投げまくることができる。かつての神社やお寺はこのような姿だったのかもしれない。何を守り、何を繋いでいるのだろうか。